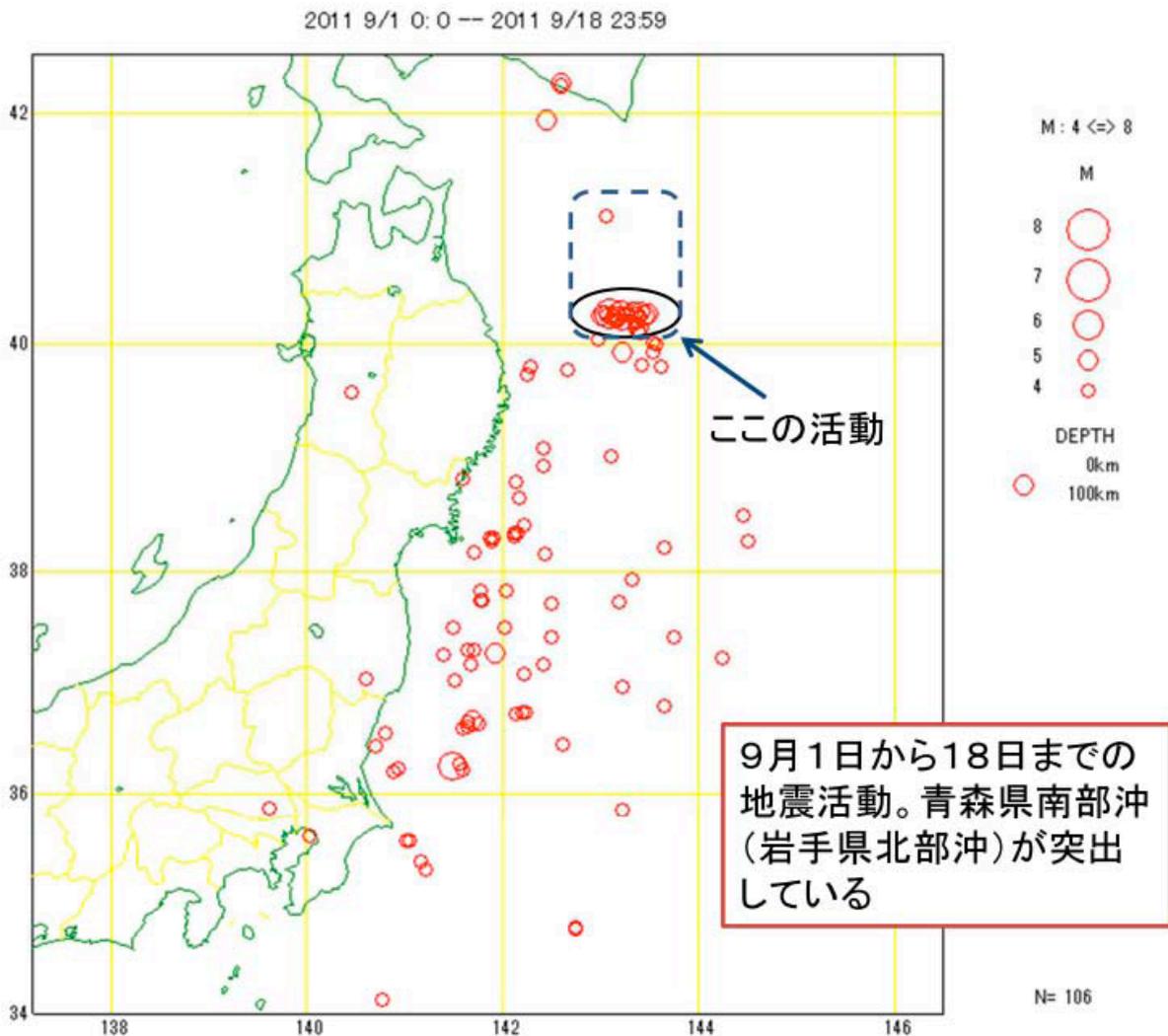


青森沖で大規模地震発生の可能性があります。

9月17日午前4時ごろから、東北地方・青森県沖で、中規模の地震発生が続いています。

3月11日の東日本大震災の余震域の北端で、これまで余震活動がほとんどなかった地点です。

問題はこの地震活動が「前震」とも考えられる性質を持っている事です。最悪の場合、津波を伴うM8近い地震が発生してもおかしくはありません。発生時期の推定は極めて難しいですが、当面ここ2週間ほどが目途になるかと思えます。今後の活動の推移に注目していきたいと思えます。



図中の点線の範囲が現在考えられる最悪の予想破壊領域。この領域が全部壊れるとM8クラスとなってしまいます。現在活動は小康状態であり、このまま終息する可能性もあります。東北大学等もこの活動に注目し、注意深く解析を行っています。

東海大学 地震予知研究センター長 長尾年恭 教授